

職業講話（愛鷹小学校）

と き	令和元年 11 月 20 日（水） 13:35～14:30
ところ	愛鷹小学校 体育館
対 象	6 年生（109 人）
内 容	「夢に向かって」をテーマに、世の中の職業を無意識に男女に分けて考えていることに気づいたり、社会には男女の区別がなく活躍している人が多くいることを知ったりすることを通して、自分の良さや可能性を将来の職業に活かすことが大切であることを感じ、自分の夢に前向きに取り組もうとする態度を養うため、男女共同参画推進事業所（3社）による職業講話を行いました。



【株式会社サンディオスの方】

のっぽパンのデザインを手がけた会社です。商品が売れるためにデザインだけでなく、マーケティングもお客様に提案しています。私も3つ子の母なので、出産休暇・育児休暇を充実させるなど、従業員みんなが楽しいことも悲しいことも何でも話せる会社作りをしています。



【消防署の方】

24時間勤務という特殊な勤務形態ですが、市民の方からありがとうと言われると、とても励みになります。男性だけのイメージが強いですが、女性消防士も全国的にかなり増えていて、外で働く仕事だと思われていますが、パソコンでの事務作業もかなり多く、使えない人はいません。



【市立病院の方】

市立病院で生まれ、愛鷹小・中学校に通い看護師になりました。看護師の実習で私を取り上げてくれた方に教わり、とても運命的なものを感じました。昔は女性の仕事でしたが、男性は力もあり、患者さんの信頼も厚いです。命をつなぐ仕事でとても大切な仕事だと思っています。

子どもたちの感想

- 仕事はやりがいや達成感があるから続けることができるのだと分かった。
- 自分も地元の役に立つ仕事に就きたいと思った。運命を感じる職業に就くことができたらと思った。
- どの仕事にも興味を持った。消防士では、女性消防士はかっこいいと思った。看護師では、赤ちゃんや老人のお世話をやってみたいと思った。マーケティングプランナーでは、デザインを考え、商品化することをやってみたいと思った。